

6-4

社会貢献活動

朝日インテックの社会貢献活動

社会貢献に対する考え方

当社グループのサステナビリティとは、ステークホルダーとの信頼関係を構築すること、価値創造プロセス(事業の推進と基盤の強化の好循環)に取り組み、企業理念を実践すること、それにより「ASAHI ブランド」(コーポレートブランド)を確立することと考えています。

当社グループにとって地域社会・グローバル社会は大切なステークホルダーです。当社グループは社会の一員として、いつの時代も地域・社会の発展を支えることにより、ステークホルダーとの信頼関係を構築してまいります。

スポーツを通じた社会貢献

当社グループは、スポーツ振興による人々のQOL向上や地域の活性化など、広く社会に貢献する取り組みを進めています。また、世界で活躍する選手を応援することにより、当社グループの組織風土の活性化へもつなげています。

プロゴルファーとの当社所属選手契約・

スポンサー契約締結

当社グループはCSR活動の一環として、アスリートを支援するス

ポンサーシップに取り組んでいます。

地元名古屋出身の女子プロゴルファー服部真タプロと当社所属選手契約を締結、岐阜県出身の小野祐夢プロ、愛知県岡崎市出身の穴井詩プロの2名とスポンサー契約を締結しています。

地元出身のアスリートの支援を通じて、地域の活性化を目指し、地域への貢献につなげてまいりたいと考えています。



服部真タプロ



小野祐夢プロ



穴井詩プロ

なでしこリーグ女子サッカーチーム／朝日インテック・ラブリッジ名古屋とのネーミングライツパートナー契約

当社は2022年2月に、なでしこリーグに所属する名古屋市の女子サッカーチーム「朝日インテック・ラブリッジ名古屋」とネーミングライツパートナー契約を結び、活動の支援を行っています。また、チーム所属選手を当社従業員として雇用し、選手として

の活動を支援しています。

朝日インテック・ラブリッジ名古屋は、1995年に名古屋グランパスジュニアレディースとしてチームが発足し、1998年に名古屋FCレディースへ名称変更、2004年に愛知県リーグから東海リーグに昇格しました。2014年に日本女子サッカーリーグ(なでしこリーグ)3部チャレンジリーグに昇格、2017年にNGUラブリッジ名古屋に名称変更し、2021年には日本女子サッカーリーグ(なでしこリーグ)1部に昇格、2022年に朝日インテック・ラブリッジ名古屋に名称変更しました。さらに2025年にはリーグ初優勝を果たしました。



夏目歩実選手



柴山史菜選手

6-4 社会貢献活動

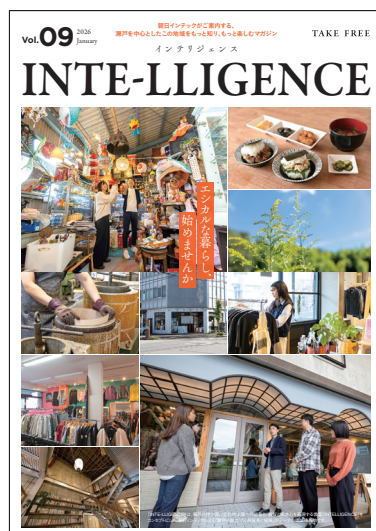
地域社会への貢献

地域情報誌『INTE-LLIGENCE』発行

当社は、2022年1月より瀬戸市周辺の情報を紹介する地域情報誌『INTE-LLIGENCE』を発行しています。本情報誌は、瀬戸市で働き、瀬戸市近郊に住んでいる当社従業員だからこそ知っているディープな情報を中心にピックアップし、「瀬戸の魅力を再発見する」ことをコンセプトに、微力ながら地域活性化の一助となるようにとの想いで制作しています。

本誌は瀬戸市公共施設、瀬戸市内の金融機関、鉄道各駅（尾張瀬戸駅、新瀬戸駅、尾張旭駅、大曽根駅、栄町駅）などに設置していただいています。

引き続き半年に1回の発行を予定しており、地域の発展に貢献してまいります。



医療機器産業振興フォーラムへの登壇

2025年10月、スタートアップ支援拠点「STATION Ai」にて開催された「医療機器産業振興フォーラム～医療につなげる、ものづくりの力～」(主催：株式会社三菱UFJ銀行、共催：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社)において、当社取締役の石原和人が登壇しました。

本フォーラムは、地域のものづくり企業による医療機器分野への参入促進や、産学官連携の深化を目的として開催されたものであり、当社からは低侵襲医療を支える技術開発の取り組みや、医療現場との協働を通じた製品化事例について紹介しました。



当社は、医療機器産業の発展を通じて人々の健康とQOL(生活の質)の向上に寄与することを重要な社会的使命と位置づけています。今回の登壇も、産業界全体での知見共有を通じて医療技術の進歩と地域産業の活性化に貢献する、社会的取り組みの一環として実施したものです。

今後も当社は、「医療に貢献するものづくり企業」として、社会との共創を通じた持続的な価値創造を推進してまいります。



登壇の様子

6-4 社会貢献活動

旧古瀬戸小学校跡地にグラウンド建設

当社は旧瀬戸市立古瀬戸小学校跡地に、朝日インテック・ラブリッジ名古屋の練習グラウンド「朝日インテックWOVEN FIELD」を建設しました。

当施設は、朝日インテック・ラブリッジ名古屋の練習拠点とするほか、当社従業員の福利厚生施設としての活用および地域の皆様に貸し出しすることにより、地域におけるスポーツ振興を行ってまいります。また、当施設を拠点とし、瀬戸市と協力の上、スポーツを通じたさまざまな地域貢献活動を行ってまいります。



さらに2024年6月には瀬戸市と朝日インテック・ラブリッジ名古屋と当社の三者間で「包括連携協定」「災害時における施設使用等に関する協定」を締結しました。地震や大雨、台風などの自然災害発生時または発生が予測される場合に、近隣住民の一時的な避難場所として活用する予定です。今回の協定締結を機として、今後更なる地域貢献活動を推進してまいります。

朝日インテック・ラブリッジ名古屋との環境推進活動

●清掃活動

当社の環境推進活動の一環として、練習拠点としている「朝日インテック WOVEN FIELD」の周辺を瀬戸市民、当社従業員と朝日インテック・ラブリッジ名古屋の選手およびスタッフ約40名で清掃活動を行いました。



●瀬戸市花と緑のまちづくり推進連絡協議会との植栽活動

瀬戸市で持続可能な花と緑のまちづくりを実現することを目的に活動をしている、瀬戸市花と緑のまちづくり推進連絡協議会、朝日インテック・ラブリッジ名古屋の選手らと、毎年プレナスなでしこリーグ1部でのリーグ戦勝利数にちなんだ数のスイセンの球根を瀬戸川河川敷に植栽しています。



6-4 社会貢献活動

各事業所における地域清掃ボランティア活動の展開

当社グループでは環境保護活動の一環として、従業員主導の清掃ボランティア活動が積極的に推進されています。今期も当社グループの多くの拠点で、清掃ボランティア活動が展開されました。また、朝日インテックのロゴの入ったオリジナルピブスを制作し、それらを活用することでこの活動の輪は、更なる広がりを見せています。引き続き、地域に根差した環境保護活動を積極的に展開してまいります。



朝日インテックロゴ入りオリジナルピブス



グローバル本社・R&Dセンター周辺



大阪R&Dセンター周辺



名古屋オフィス周辺



東北R&Dセンター周辺



品川オフィス周辺

6-4 社会貢献活動

大阪・関西万博パビリオン
「PASONA NATUREVERSE」協賛

当社は、2025年大阪・関西万博にて、株式会社パソナグループが運営するパビリオン「PASONA NATUREVERSE」に展示出展いたしました。パビリオンのテーマである「いのち、ありがとう。」を伝えるべく、展示では当社が培ってきた医療デバイス技術やカテーテル治療の役割をわかりやすく紹介するとともに、未来の医療を象徴するリモート手術や次世代医療コンセプトを提示し、当社技術が医療現場に提供する価値と将来の可能性を来場者に体感いただきました。

万博への出展は、当社が掲げる「よりよい医療を世界へ」という理念を社会へ広く発信する機会となり、来場者から得た対話やフィードバックは、今後の事業活動や価値創造に活かされる貴重な知見となりました。

PASONA NATUREVERSE
(写真提供:パソナグループ)

朝日インテック「未来の医療」ブース

「空飛ぶ手術室」と連動して展開
(写真提供:パソナグループ)

「BALL PARK LAND in NISSEN 2024」に協賛

当社は、一般社団法人フィンガーズクロスが主催する「BALL PARK LAND in NISSEN 2024」に協賛しました。

地元で試合の出場機会に恵まれない選手たちに試合出場機会を与える試合の運営、ニュースポーツの体験イベントなどを企画・運営している同団体のイベントに協賛することにより、地域での健康増進・スポーツの普及、青少年の健全育成に貢献してまいります。

「Sonoligo Future」を支援

当社は、名古屋大学発ベンチャー企業の株式会社Sonoligoが行う「Sonoligo Future」を支援しています。

Sonoligo Futureは名古屋市と連携し、次世代を担う子供たちに向けて、多種多様な文化体験を無償で提供するプロジェクトです。2025年11月には名古屋大学の豊田講堂にて小惑星探査機「はやぶさ2」の原寸大模型の展示や、講師を招き宇宙・技術の魅力を伝える特別トークショーを開催しました。本イベントを通して、

好奇心を持つことの大切さや研究の楽しさを知っていただくきっかけとなることを目指しています。

今後も同プロジェクトの支援を通じて、青少年の健全育成に貢献してまいります。

「GIGI Project」にスポンサー協賛

当社は、歌手の一青窈さんが中心となり、闘病中の方や患者様をサポートする医療従事者の方々に元気にするために、病院で生歌を届けるプロジェクトを行っている、一般社団法人gigiの活動を支援しています。

2025年5月には愛知県がんセンターにてライブを行い、入院中の患者様、医療従事者の方約80名に歌を披露いただきました。今後は活動の拠点を東海地方だけでなく全国に拡大し、同プロジェクトの協賛を通じて、全国各地の入院患者様や医療従事者のQOL向上の貢献に努めてまいります。

